■仕様

装置本体	
全長 L×W×H (mm)	528×182×133
重量 (kg)	7
安定器	
全長 L×W×H (mm)	395×112×282
重量 (kg)	5

項目	内容
対応可能V幅	■V6～14（最大V20までは特型対応可能） ※肩Rを追加工していない標準1Vダイ(原則) ■角度86°,88°,90°（30°～60°） ※角度30°の標準対応はV8まで その他、特型対応可能 両面逃げ追加工金型にも対応可能(ガイド板スライドタイプ)
膜厚	0.3mm(±2/100)
加工推奨V幅	板厚の8～10倍

*仕様および外観は改良の為予告なく変更する場合があります。

安全に正しくお使いいただく為に、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

株式会社NSD

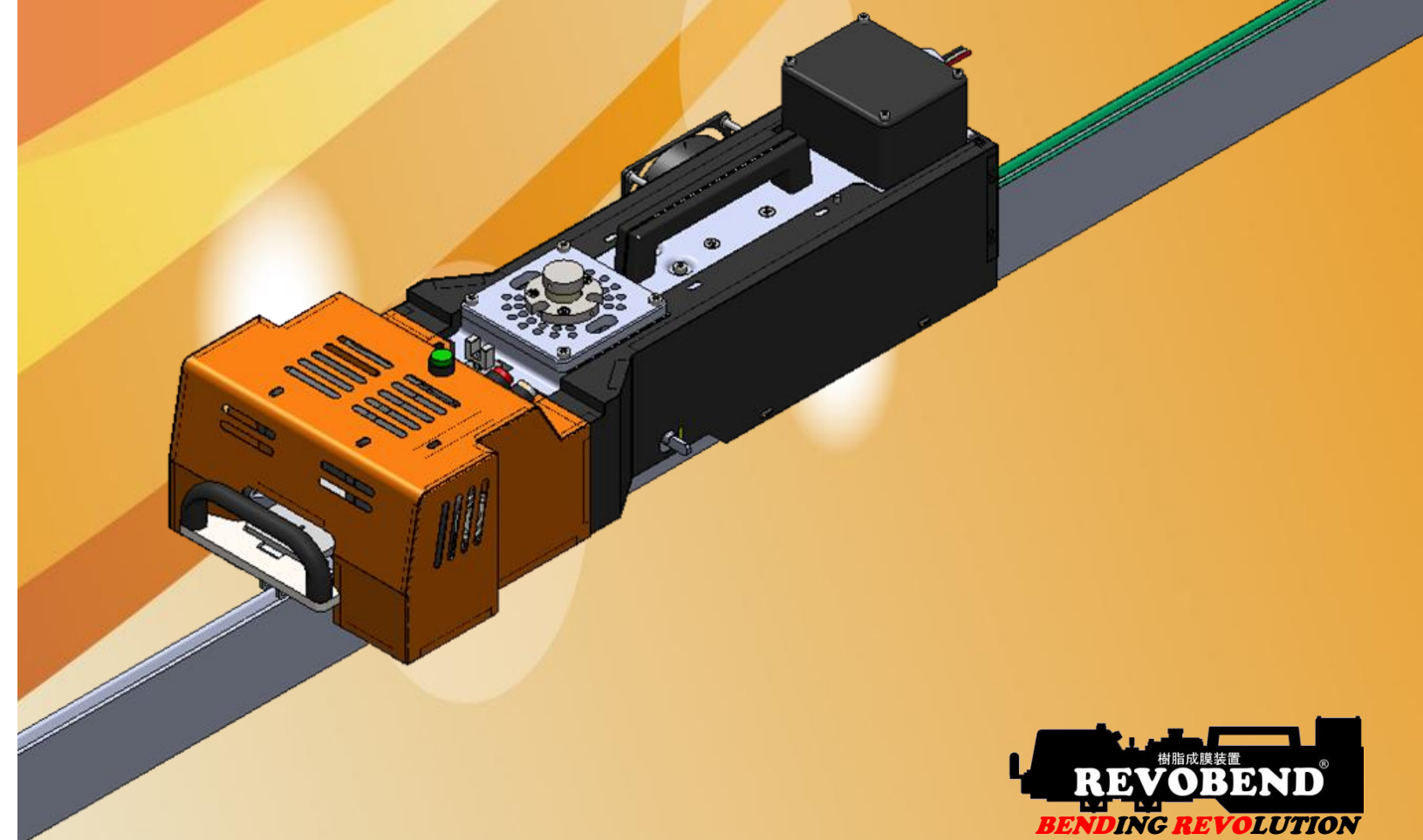
〒532-0003
大阪市淀川区宮原1-19-10新大阪エクセルビル902
TEL:06-4807-7790　FAX:06-4807-7792
E-MAIL:info@nsd-d.co.jp
URL:http://www.nsd-d.co.jp/

作成日:20年7月

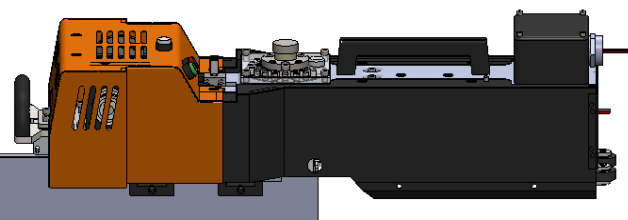
株式会社NSD

樹脂成膜装置
REVOBEND®（レボベンド）

特許第5369352号

～作業者の視点で新発想～
板金曲げ加工に革命を起こす！

“金型に樹脂をコーティングする” という新しいスタイル。

現場内で成膜　金型と一体化　継ぎ目のキズが出ない　全てにおいて新しい！

長年、板金加工業界において大きな課題であった、鉄板の曲げ加工工程で発生する曲げキズ問題。
マシンは日々進化し、加工精度は日々進歩する一方で、曲げキズ対策商品に変化が見られない事に着目し“作業をもっとスマートに！”との思いから、今までにない新しい発想と技術に基づき、作業者の視点からREVOBEND（レボベンド）を独自開発。
全国の板金加工業の皆様に『より快適でより効率よいモノづくり』をご提案させていただきます。

今までとはココが違う！ 5つのメリット

1. あらゆるワーク材質（SPCC・AL・SUS・カラー鋼板等）においてビニール付の材料を使用せず曲げキズを防ぐ事ができる。
2. ボンデ鋼板や亜鉛めっき鋼板を加工した時に出る粉がダイ金型に付着しない。
3. 金型の継ぎ目のキズを防ぐ為、納期と費用のかかるワーク長さに合わせた一本物の特注ダイを製作する必要がなくなる。
4. 樹脂被膜を介する事で、金型自体のもちが良くなり、再研磨する必要がなくなる。また、金型からの貰い錆も防げる。
5. 金型の継ぎ目や凹みを埋めるように成膜する事であらゆるキズを防止する。

ご使用方法

1）樹脂タンクに専用硬化樹脂を入れダイ金型にセットする。
2）メインスイッチを入れOKサインが点灯するまで数分待つ。
3）モータースイッチをONにし自走成膜を行う。
※成膜後すぐにご使用いただけます。
※詳しい操作方法は、「取扱説明書」をお読みください。

新開発 REVOBEND®（レボベンド）

樹脂を標準のダイ金型へ直接成膜するという今までにない新しい発想と技術！

- 業者に依頼せず現場内で樹脂成膜ができ、すぐに使用できる。
- 成膜後、樹脂とダイが一体となり標準ダイと同様の使用感！
- 継ぎ目のキズが全く付かない。
- 摩耗後は剥離し何度でも成膜可能。

キズなし加工が可能に！

タクトタイムの短縮

REVOBENDは約10㎜/秒のスピードで、自走成膜します。
ご使用頂く事で曲げ加工後の研磨処理が不要となり、加工時間の短縮につながります。

ストレスレスを実現

従来のキズ対策商品をご使用の際に感じていた“ズレ”“破れ”といった作業者のストレスを硬化樹脂と金型を密着させる事で解決しました。

ランニングコストの削減

摩耗後は廃棄し新規購入するのではなく、剥離し何度でも繰り返し成膜して頂く事でランニングコストを削減します。
※硬化樹脂成膜1mあたりの単価は従来のキズ対策商品の約1/10です。
※剥離した樹脂は一般プラスチックごみとして廃棄してください。

製品コストの削減

REVOBENDはビニール付材料を使用せずキズを防ぐ事ができ、また研磨作業が一工程減る事で加工時間を削減します。これらの利点から製品のコストダウンにつながります。

※仕様および外観は改良の為予告なく変更する場合があります。